

---

---

# 地域史研究

— 尼崎市立地域研究史料館紀要 —

---

---

第37巻第1号（通巻104号）

平成19年9月

## お届けします…

□平成19年度の第1号をお届けします。

■巻頭には、西本昌弘さんの古代史論文を掲載させていただきました。8世紀前半に、畿内地方への仏教の布教や貧民救済、土木事業に尽力した僧行基が設置した寺院のひとつ、楊津院が神崎川河口の河尻にあったと考えられることを論じ、その背景をさぐっています。

□続く池田論文は、本誌第34巻第2号に掲載した末方論文の続編です。今回は、大正・昭和期の尼崎地域における学校経営史を取り上げます。

■昨年度（平成18）は、「尼崎の歴史展」開催や『図説尼崎の歴史』発行など、尼崎市制90周年記念事業が目白押しでした。そのうち歴史展関連企画として実施した子ども向けワークショップのレポートを、同企画を立案し実施していただいた神戸大学の地域連携センター及び協力者の田中眞吾さんにご寄稿いただきました。

□市制90周年を記念して、本年1月末に発行した『図説尼崎の歴史』については、本誌次号に小特集を組んで、数人の方に書評をお願いする予定です。